

図書館だより

1月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	⑤	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
⑮	⑯	17	18	19	20	21
22	⑳	24	25	26	27	28
29	⑳	㉑				

○印 休館日
月曜日・祝日(15日) 月末館内整理日
(31日) 年始休館(1日～5日)

第二次世界大戦歴史地図

ジョン・キーガン
紙の道 ペーパーロード 陳舜臣
イギリス王室の社会学

マイケル・ビリッゲ
毛沢東の私生活 上・下 李志綏
「NO」と言えるアジア

マハティール
アジア人と日本人 大前研一
全予測日本へ1995

三菱総合研究所
三本隆明
1995 ▼ 2010世界大恐慌
吉本隆明
ラビ・パトラ



♡ 児童図書

大地の川 関 正和
森は海の恋人 島山重篤
新イマドキの家 大竹静市郎写真
これからどうなる日本の製造業
母と子のもっと楽しくステンシル
赤毛のアンのカントリークラフト
南仏プロヴァンス料理紀行
贅沢な仕事 ピーター・メイル
眼の狩人 大竹昭子
水野晴郎のわが映画人生 水野晴郎
イチロー20歳の挑戦 永谷 脩
狼たちの伝説 五木寛之
小説の経験 大江健三郎
他三〇八冊

「富士川舟行」と前書がある。極寒は冬でも特別にきびしい寒さのこと。「ちりもとどめず」はちりひとつない。厳寒なまでの清浄さを言う。「敵ぶすま」はふすまのようにけわしく立ち並ぶ大きな岩。急流を舟で下ってゆくと、切り立った絶壁の岩々がふすまのように立ち並び、きびしい寒気にさらされて、ちりひとつとどめないかのように厳然とそびえている景趣である。

今月の新刊図書案内

♡ 一般図書

古書と美術の森へ 高橋輝次
パニヤンの樹かげで 松井 透
完本秩父事件 井上幸治
復元・江戸情報地図

吉原健一郎ほか

アメリカの小さな大学町浦田誠親
遠ざかる教室 小沢昭巳
子どもにやさしい保育制度を
マッド死事件 朝日新聞山形支局
風呂屋の富士山 町田 忍
科学者とは何か 村上陽一郎
こころと治癒力
ビル・モイヤーズ
抗がん剤の副作用がわかる本
近藤 誠
医者を選ぶのも寿命のうち
松木康夫
ハスの葉茶健康法 山ノ内慎一

他九十四冊

心の健康シリーズ(21) 物を大切に育てよう

街の店頭には、あふれんばかりのおもちゃや品物があり、子どもや大人の心を引きつけます。おもちゃも年々高度化、高額化して子どもの興味をおおっています。

従って、子どもは次から次へと欲求を高め、両親や祖父母におねだりして、欲求を満たし、楽しい生活を過ごしています。誠に恵まれた生活です。

小学生に「何か不満がありませんか」と聞くとほとんどの子どもが「ありません」と答えます。

この様に子どもは今、満たされた生活をしていることがわかります。

高度経済成長を支えるため、大量生産、大量消費といわれ、物がいつでも、どこでも手に入り、使い捨てが常識化すると共に物を買うことへの抵抗感が薄らぎ、物を大切に育てる心が失われつつある社会にあって、子どもにも欲しいものは惜しげもなく買ってもらわれています。

誠によい時代といえ、よい時代ですが、しかし、本当にこれでよいでしょうか。

このような時代だからこそ、物やお金を大切にすること、ま

た、がまんする心を育てることが大切です。

一度、生活程度を上げたものを下げるといふことは大変むずかしいように、子どもも欲しい物が次ぎ次ぎと手に入ったものが急に欲求が満たされなくなることは大変淋しい事だし、がまんできないことです。

物やお金を大切にすることは、普段から家庭で無駄な消費を省き、使えなくなった物もリフレッシュして使うなど、工夫するなどして儉約に努めることによつて、子どもにも、物を大切に育てていきます。

また、次から次へと物を欲しがるといふ子には物を大切に育てる心が薄いので、がまんすることや物を大切にすることを教えることが必要です。

物を大切にすることは、自分のものを大切に育てるばかりでなく、人のもの、公共的なものを大切にすることにつながります。また、物の見方、考え方も成長しますし、経済的観念も向上し、精神的にしっかりした子どもに成長します。

ノンフィクション作家、沖中典子さんが、物を大切に育てる心、がまんする心を育てるには子どもに

「100%の幸せを与えなくてよい」という言葉で教えています。